

<R08-No26 : 応用測量 (用地) : 問題>

次の 1 ～ 5 の文は、公共測量における用地測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の 1 ～ 5 の中から選べ。

1. 土地の登記記録の調査のため、管轄法務局などに備えられた登記事項証明書などに基づき、土地調査表を作成する。
2. 権利者確認調査のため、測量計画機関から貸与された資料などを基に権利者調査表を作成する。
3. 復元測量において、復元すべき位置に仮杭を設置する場合は、関係権利者への事前説明を実施するが、仮杭の設置作業時には、原則として関係権利者による立会いは行わない。
4. 用地境界仮杭設置は、交点計算などで求めた用地境界仮杭の座標値に基づいて、4級基準点以上の基準点から放射法により行うことができる。
5. 境界点に既設の標識が設置されている場合は、関係権利者の同意を得ることなく、それを境界点とすることができる。

